

2025年6月16日

ニュースリリース

「第6回秋田県内におけるIT/DXの導入実態に関する調査」

秋田デジタル利活用推進協会が開始します。

一般社団法人秋田デジタル利活用推進協会※（本部秋田市、会長：齋藤和美）では、2025年6月に第6回秋田県内におけるIT/DXの導入実態に関する調査を開始する。Webと郵送で約400件を目標に有効回答票を回収する予定。協会では定期的に年数回の県内の景気判断のための景況感と最新IT/DXの活用実態に関する調査を実施して、秋田デジタル利活用推進協会会員や秋田県の企業へ結果をフィードバックし、ITの有効活用、推進する活動を行う。同様にセミナーや講演、教育支援などを通じて最新IT/DXの状況の告知、普及を図っていく。

「以下、今回の調査の詳細。」

第6回秋田県内におけるIT/DXの導入実態に関する調査ご協力の御願い

拝啓 各位におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当協会は発足以来、秋田県内の民間企業のIT、デジタル化の実態を把握することを目的に、県内の企業の景況感とIT/DXに関しての実態についてのアンケート調査を実施しております。昨年も調査ご協力いただき、大変ありがとうございました。その結果につきましては、ご協力の皆様に調査結果のダイジェストとしてお送りいたしました。https://rpa-akita.jp/wp-content/uploads/2024/08/no5_pre_20240820_re1.pdf

さて、当協会としては、本年も年1回の定点調査として、秋田県内の企業のIT/DXの導入実態と景況感に関しての調査を行うことになり、今回は6回目の調査実施のご協力の御願いとなります。

なお当調査の集計・分析結果は、個別の情報が特定されない統計情報として、回答者様への送付、並びにWeb・メディアでの公開を予定しております。

どうかご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

敬具

調査概要

調査目的：第6回秋田県内におけるIT/DXの導入実態に関する調査

調査対象：県内に本社を有する民間企業の経営者・経営層、または情報システム担当者

調査サンプルの抽出方法：クラスター抽出法

調査方法：原則WEBでの回答（郵送回答も一部併用）

調査期間：2025年6月23日～7月18日

調査結果の利用方法：個人を特定されない統計情報として、Web、地元メディアでの公開

調査結果の分析方法：企業規模、業種、地域ごとに集計・分析

当アンケートの回答時間の目安は約5分です。

「秋田デジタル利活用推進協会」で検索、またはアドレスバーに下記URLを入力してください。

https://akita-rpa.satori.site/202506_Questionnaire



「調査連絡先」

〒010-0865

秋田県秋田市手形新栄町7番47号

akita.rpa@gmail.com Fax 018-838-7113

一般社団法人秋田デジタル利活用推進協会

（旧一般社団法人 秋田RPA協会）

<https://rpa-akita.jp/>

事務局 調査担当

主催：一般社団法人秋田デジタル利活用推進協会

後援：秋田大学 未来研究統括機構

秋田県、秋田商工会議所など

協力：エイデイケイ富士システム(株)

※その他予定含む

アンケートにおける個人情報の取り扱いについて(必ずお読みください)

一般社団法人秋田デジタル利活用推進協会は、本アンケート調査で取得した個人情報を、以下の目的の範囲内で使用いたします。

- ・アンケート回答結果の集計・分析
- ・お客様個人を識別できない形式での統計情報
- ・ITに関する情報提供による企業支援

分析結果が地元メディアやWebで公開されることもありますが、個別の情報が特定されることはありません。また情報はこれらの目的以外で利用されることはありません。